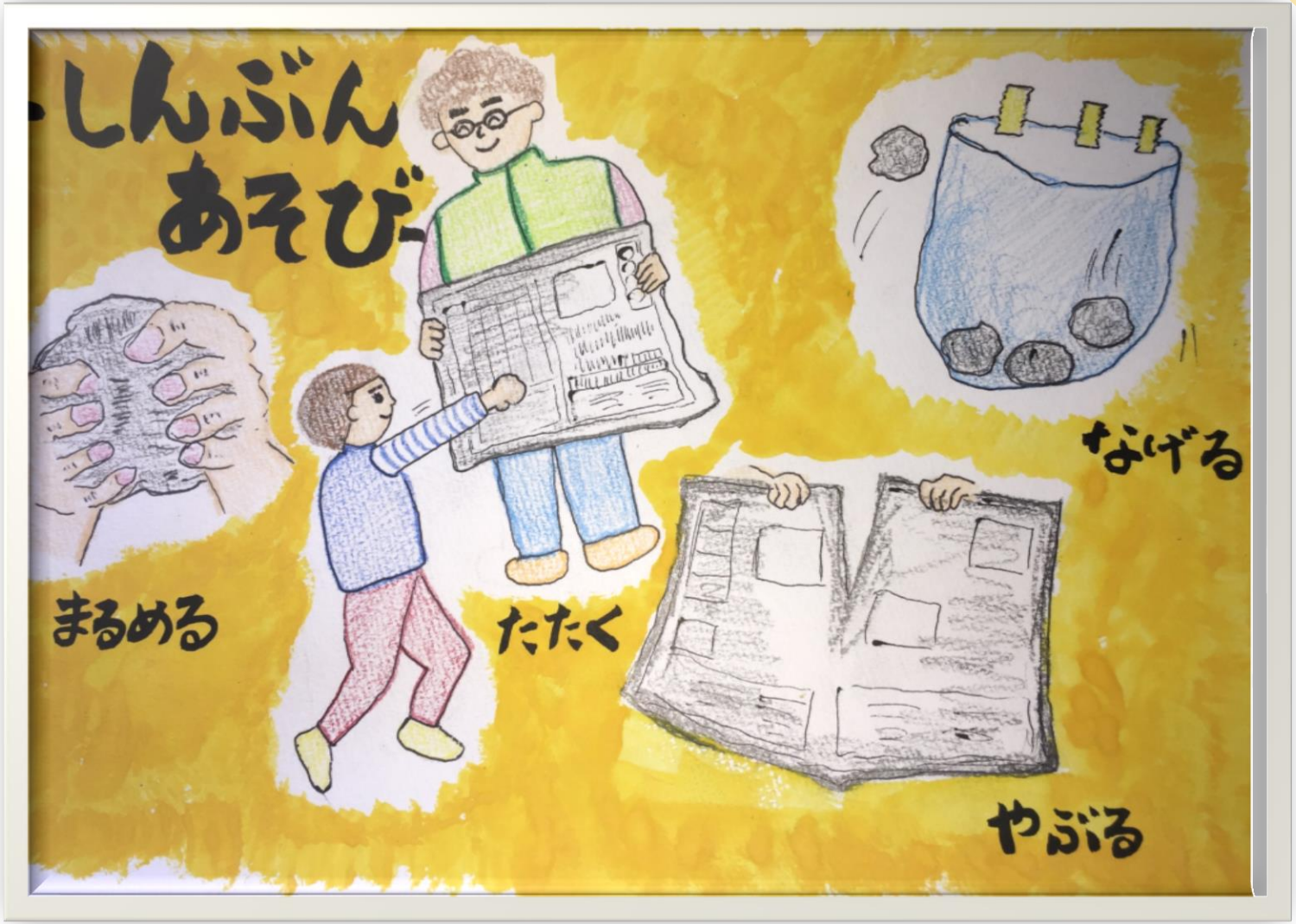
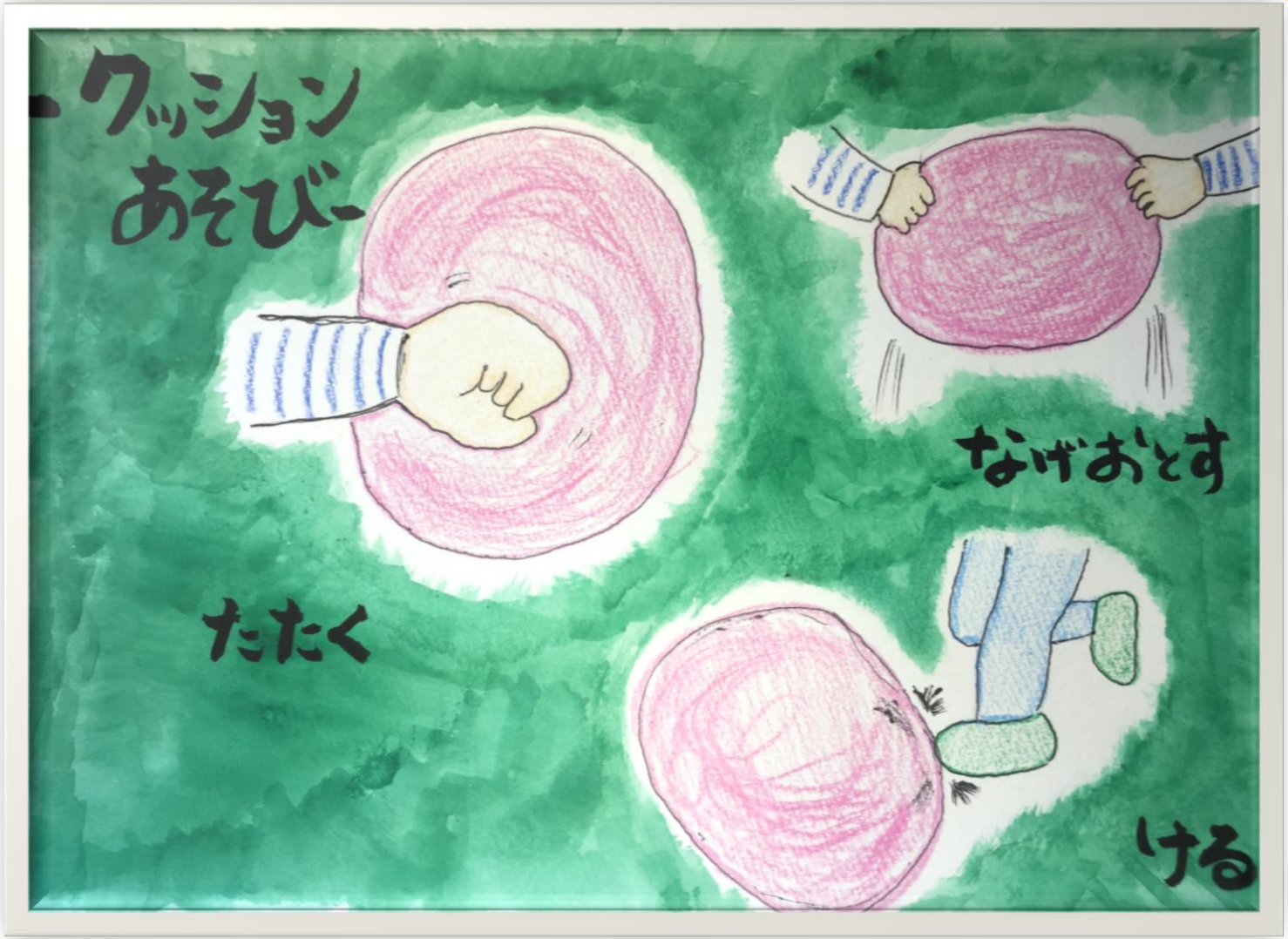
コロナウイルスの影響で子どもたちは思いきり外で遊ぶことができず、大変な日々だと思います。室内でできる遊びをイラストにしました。



親子で新聞を使って思いっきり発散しましょう。（ビリビリ・ギュッ・ポン）



「家の中でもこれならやっていいよ。」
という遊びを準備しましょう。

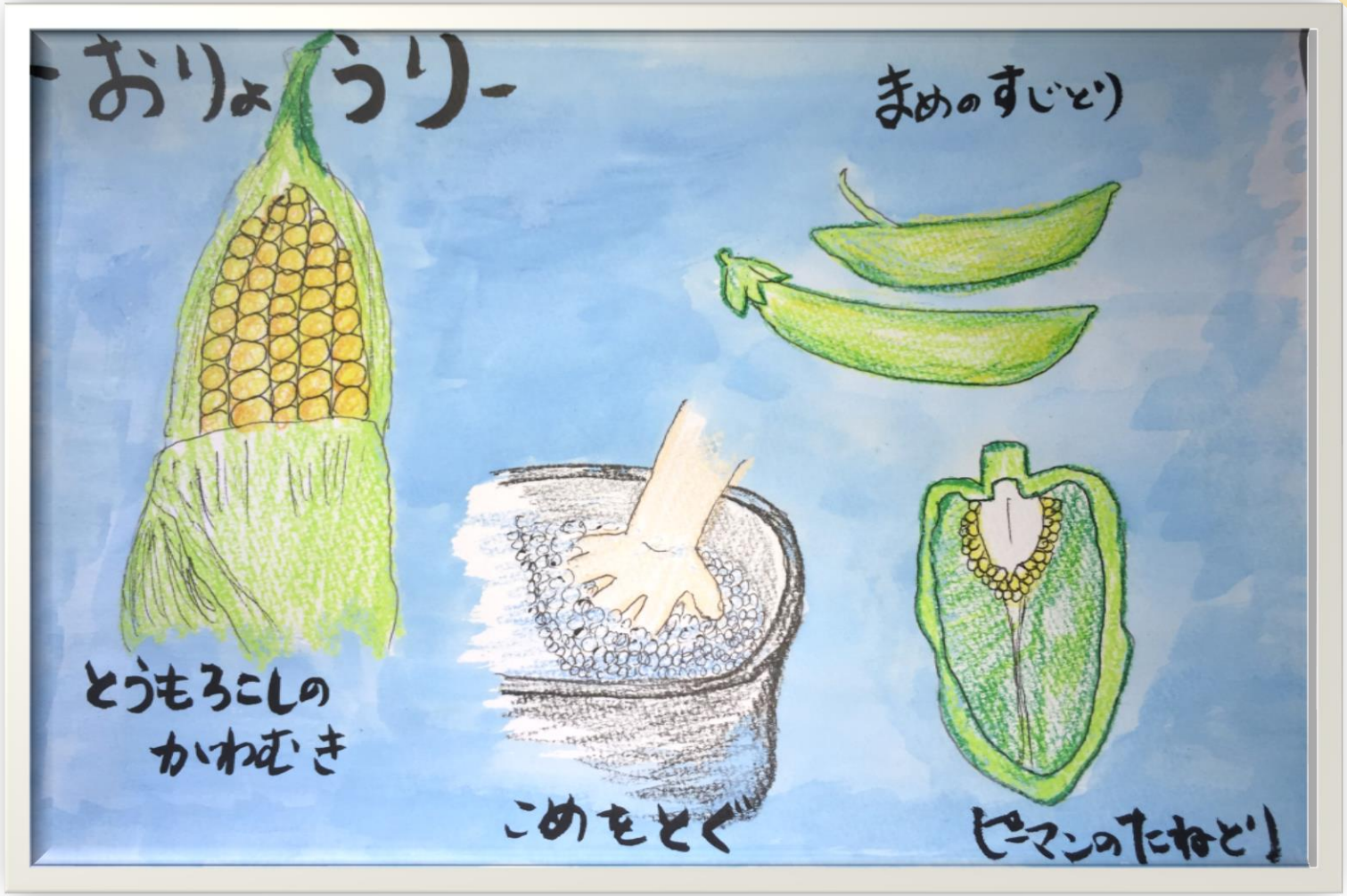
触覚は情緒の安定と関係しています。
フワフワの感覚を全身で感じましょう。

火を扱うときは
大人と一緒に

口を使った遊びは、楽しみながら口を意識して動かしたり、息を調節したりすることができます。
きれいな発音や、お話を楽しむことにつながります。

包丁を扱うときは
大人と一緒に

料理は手先の動きを育て、力の調節が上手になります。



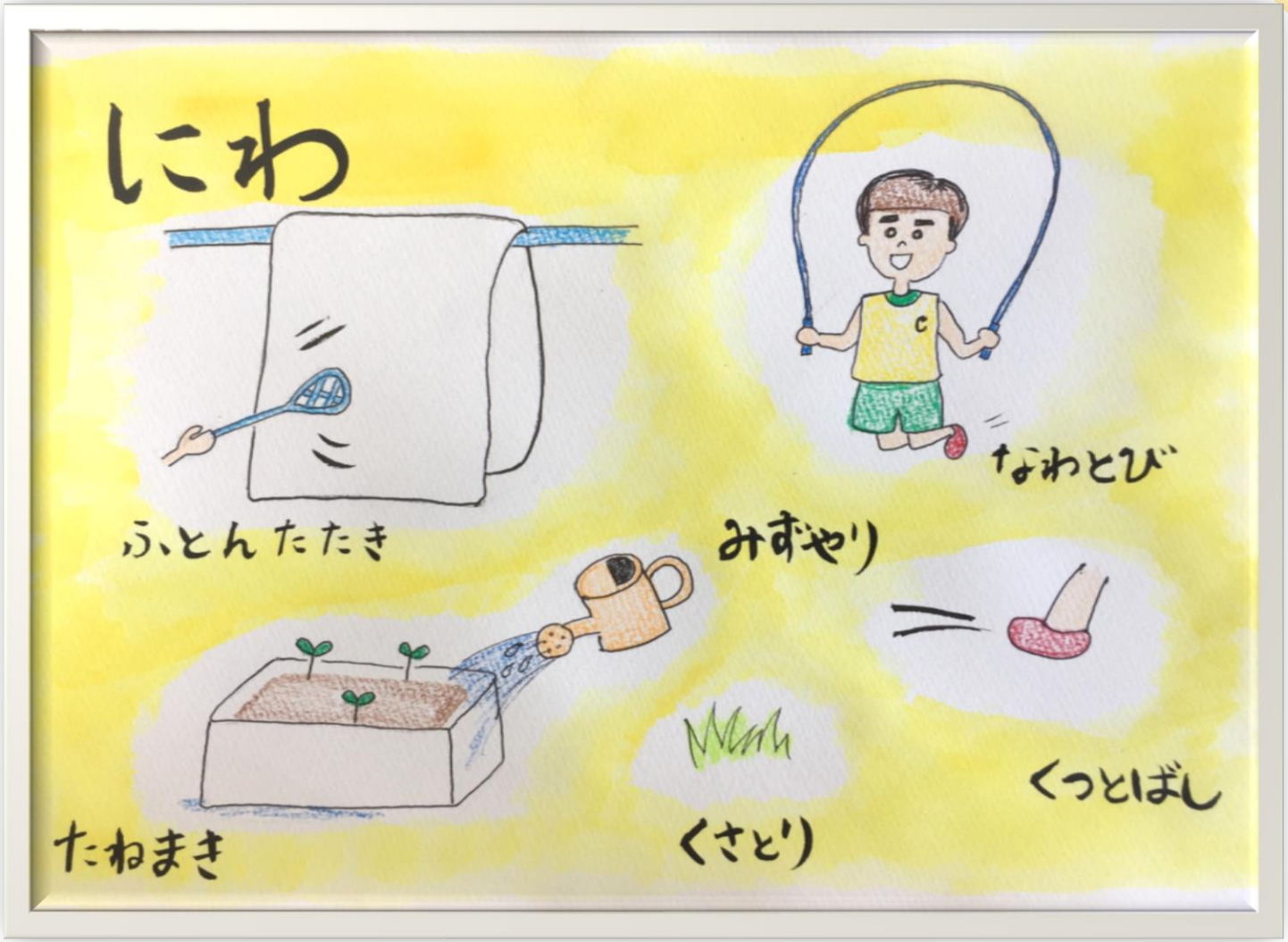
「ありがとう」と言われる体験は、
人に感謝する気持ちを育てます。

体にグッと力が入るような遊びは
体のイメージづくりにつながります。

シェービングクリームは口に入れないように

感覚の好みは人それぞれです。嫌がるときは無理強いせず、楽しそうに遊んでいる姿を見せることが大切です。

風船遊びを通して動くモノを目で追う力がついていきます。



少し外に出るだけで、大人も子どももリフレッシュできます。

特別なことをしなくても、親子で一緒に遊ぶだけで子どもにとっては何より楽しいものです。

ご家庭で「おうちであそぼ」をご活用いただけたらと思います。

熊本市子ども発達支援センター　地域支援班

〒862-0971　熊本市中央区大江5丁目1番1号
熊本市総合保健福祉センター
「ウェルパルくまもと」2階

TEL:　096-366-8240
FAX:　096-366-8260